

平成 28 年度
事業報告書

平成 28 年 (2016 年) 5 月 12 日から
平成 29 年 (2017 年) 3 月 31 日まで

一般財団法人
九電みらい財団

活動初年度となる平成 28 年度は、環境活動（環境保全活動と環境教育活動）および次世代育成支援活動の 2 項目を柱に活動を展開するとともに、これらの活動の情報発信を推進

I 環境活動

1 坊ガツル湿原での環境保全活動、及び周辺地域での希少植物保護活動

- 坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、湿原の野焼きや外来種駆除、植生保護等の活動を実施
- 各活動とも九州電力グループ各社や関係団体、環境省のパークボランティア等へ参加を呼びかけたことで、参加者は約 580 名（前年比約 200 名増）に拡大

(1) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）野焼き活動

- 実施にあたっては、財団と地元の団体・企業等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団法人）」を開催し、実施日や役割分担を決定。実施当日は、九州電力(株)大分支社および地元団体と連携のうえ、活動を実施
- 他地域での野焼きで発生した死亡事故事例を踏まえ、登山客への注意喚起等の安全対策を重点的に実施

活 動	内 容	実施日	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼を防止するための防火帯をつくる作業	8/27	137 名
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように、刈った草を集め焼き払う作業	9/10	128 名
本焼き	防火帯の内側に火入れを行い、坊ガツル湿原一帯を焼く作業	3/11	149 名

(2) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）外来種駆除活動

内 容	実施日	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来種植物の除去を行うとともに、実施後、参加者を対象とした自然観察会を実施	8/7	88 名

(3) 平治岳（大分県竹田市）ミヤマキリシマ植生保護活動、及び登山道整備

内 容	実施日	参加者
希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、育成に支障となる樹木（ノリウツギ等）を伐採するとともに、老朽化している登山道を整備	11/3	73 名

(4) 活動の充実策

- 野焼き作業者が高齢化している状況を踏まえ、野焼き活動のリーダーを育成

内 容	実施日	参加者
野焼き活動の経緯や安全管理に関する座学での講習および刈払機の実技指導を実施	2/18	26 名

(5) 活動の評価

- 平成 28 年度は参加者の拡大に注力した結果、昨年度に比べ増加。ただし、危険作業を伴う活動であるため、参加者数は平成 28 年度の規模がほぼ上限
- 野焼き活動は、他地域における事故事例等を検証し、活動マニュアルに反映するなど、安全面での取組みを充実させることが必要
- 今後は、ラムサール条約の目的である湿原の「保全」と「活用」に向け、取組み内容の充実が必要

2 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動

- 市民の環境保全意識の向上のため、山下池周辺「くじゅう九電の森」において、次世代（小中学生）や保護者への環境教育を実施

【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林の CO2 抑制効果・防災機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の見学、間伐の見学・体験、枝切りや植樹などを体験

(1) 次世代向け

- 福岡県、佐賀県、大分県内の教育委員会や校長会等を通じ、各学校や団体に案内した結果、福岡県・大分県の小中学校や子どもクラブから申込みがあり、計 15 回実施、530 名（次世代 467 名、引率 63 名）が参加

実施日	対 象	地域	子供	引率	計
5月19日(木)	由布院小学校	大分	35	4	39
5月20日(金)	由布院小学校	大分	33	3	36
8月4日(木)	佐伯市立明治小学校	大分	23	2	25
8月9日(火)	別府子どもクラブ	大分	26	4	30
8月18日(木)	国東市教育委員会	大分	57	6	63
8月23日(火)	しらゆりゆめクラブ	大分	35	5	40
9月21日(水)	二日市小学校 4-2	福岡	31	2	33
9月26日(月)	二日市小学校 4-3	福岡	31	2	33
9月27日(火)	二日市小学校 4-4	福岡	29	2	31
10月1日(土)	西高塾	福岡	25	10	35
10月12日(水)	佐賀関中学校	大分	37	5	42
10月15日(土)	豊後大野市放課後教室	大分	30	6	36
10月19日(水)	二日市小学校 4-1	福岡	30	2	32
10月21日(金)	大牟田市立明治小学校	福岡	28	3	31
11月4日(金)	由布市立川西小学校	大分	17	7	24
計			467	63	530

(2) 親子向け

- 北九州市、福岡市、大分市の親子を対象に、親子向けの環境教育を実施。次世代向けの環境教育に加え、保護者を対象とした森林でのヨガ体験やノルディック・ウォークなど、夏休みのイベントとして実施
- リビング福岡など各市におけるフリーペーパーに広告を掲載して参加者を公募した結果、親子104組、208名が参加

実施日	対 象	子供	大人	計
7月30日(木)	福岡市周辺の親子(1回目)	33	33	66
7月31日(金)	福岡市周辺の親子(2回目)	33	33	66
8月20日(木)	北九州市周辺の親子	24	24	48
8月21日(火)	大分市周辺の親子	14	14	28
	計	104	104	208

(3) 活動の評価

- 参加者へのアンケート結果では、「活動で得た知識・体験を今後の生活に役立てたい」、「節電や自然を大切にしていくことを心掛けたい」等の意見が多く、環境保全意識の向上に効果があったと考えられる。
- また、教育関係者からも「子ども目線でのわかりやすい説明で参考になった」など、プログラム内容等への評価も高かった。
- 今後は、実施回数や他地域からの参加を増やすことで、活動の認知度を高めることが必要

II 次世代育成支援活動

1 募集

- 平成 28 年度および 29 年度は、少子高齢化や共働き世帯の増加など、子ども達の育成環境を取り巻く現状や課題の中から、有識者の意見や他財団の活動事例も踏まえ、いずれも「子ども達への支援活動」と「子育て世帯への支援活動」を募集テーマに設定
- 財団ホームページや九州電力フェイスブックページのほか、九州各県の社会活動推進担当部署等を通じて、社会活動団体支援ネットワークのメールマガジン等により幅広く周知し、募集

2 選考結果

(1) 平成 28 年度

- 九州各地から 67 件（平均で 77 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、20 件（13.4 百万円）の団体に助成。助成にあたり、財団の活動 P R や団体との関係強化に向け、九州電力の各支社で贈呈式を実施
- 団体の活動取材し財団ホームページやフェイスブックで紹介（団体の活動時には財団の助成活動である旨を明示）。

(2) 平成 29 年度

- 平成 28 年度と同様のテーマで募集した結果、103 件（平均 74 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、20 件（14 百万円）の助成を決定

3 助成先団体の概要

(1) 助成分野と件数

テーマ	活動分野	助成件数	
		H28 年度	H29 年度
子どもたちへの支援	子どもの貧困対策や居場所づくり、ハンディキャップを抱える子どもの支援	8	6
	郷土教育や演劇・音楽等、様々な体験を通じた次世代育成	9	9
子育て世帯への支援		3	5
合計		20	20

(2) 地区別応募・選考状況

	地区	北九州	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	合計
H28 年度	応募	5	13	8	5	7	13	7	9	67
	選考	3	3	2	1	1	4	3	3	20
H29 年度	応募	12	16	16	3	11	14	10	21	103
	選考	3	3	2	1	2	4	1	4	20

III 活動の情報発信

- 財団ホームページを5月に立ち上げ、8月にフェイスブックを開始。財団の活動案内や募集時には、都度、マスコミへ取材案内を行うとともに、フェイスブック記事を九電のフェイスブックページがシェアし、情報を拡散
- 坊ガツル湿原一帯での環境活動を九州電力のホームページで特集として掲載するとともに、野焼き活動の様子を九州電力のCMとして放映

IV その他

1 事業報告の附属明細書

- 平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以 上